

- 4月10日[火] 平成30年度かごしま国体強化指導員委嘱状交付式
- 4月13日[金] 鹿児島港本港区北ふ頭国際クルーズ船初寄港
- 4月15日[日] 関西かごしまファンデー
- 4月18日[水] かごしま焼酎大使委嘱式
- 4月24日[火] 県プリア工種苗生産施設オープン
- 4月26日[木] 県政説明会
- 4月28日[土] ~ 29日[日] 知事と語るう車座対話(東串良町・肝付町)
- 5月1日[火] 叙勲伝達式
- 5月5日[土] 硫黄山噴火による川内川への影響に係る湧水町・伊佐市との意見交換会
- 5月8日[火] 齋藤農林水産大臣への「硫黄山噴火による川内川への影響に係る支援措置」要望
- 5月9日[水] 第1回鹿児島県川内川水質問題対策本部会議
- 5月9日[水] 国民体育大会強化指定証授与式
- 5月10日[木] 第1回「鹿児島港本港区エリアまちづくり検討委員会」
- 5月13日[日] 知事と語るう車座対話(阿久根市)
- 5月16日[水] 新造船さんふらわあさつま「就航記念セレモニー」
- 5月20日[日] 県障害者スポーツ大会
- 5月24日[木] ~ 27日[日] ASPAC鹿児島大会
- 5月25日[金] ~ 26日[土] 明治150年記念式典・フェスティバル
- 5月27日[日] 県総合防災訓練

4/10  
[火]

## 平成30年度かごしま国体強化指導員委嘱状交付式



▲委嘱された強化指導員の皆さん

2020年に開催されるかごしま国体に向けて、カヌーやホッケーなどの競技で全国トップレベルの選手10名を強化指導員に委嘱しました。

委嘱された強化指導員は、かごしま国体で本県代表選手としての活躍だけでなく、ジュニア選手への指導者としても期待されます。

4月10日、県庁で三反園知事から委嘱状が手渡され、指導員を代表して、ホッケー女子の爲藤弘子さんが「県民に元気や活力を与えるため、より良い報告ができるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。



▲三反園知事から強化指導員へ委嘱状を交付

4/13  
[金]

## 鹿児島港本港区北ふ頭国際クルーズ船初寄港



▲地元幼稚園児たちと関係者による「くす玉開披」

県では、クルーズ船の寄港数の増加や、さらなる大型化に対応するため、クルーズ船の受入環境整備を進めており、4月13日には、鹿児島港本港区北ふ頭において、保安対策用のフェンスなどの整備完了後初となる国際クルーズ船「ロストラル」が寄港しました。

当日は、来賓の方々を多数迎えて記念式典を開催したほか、海外観光客の皆さんに鎧や着物を試着いただく記念イベントを行うなど、盛大に初寄港を祝いました。

北ふ頭においては、さらに6万トン級のクルーズ船が寄港できるよう、岸壁の改良などを進め、積極的な誘致に努めます。



▲フランスの国際クルーズ船「ロストラル」

4/15  
[日]

## 関西かごしまファンデー



▲開会セレモニーであいさつする三反園知事

今年で第14回を迎え、関西で鹿児島島の魅力をPRするイベントとして定着している「関西かごしまファンデー」が、京セラドーム大阪で開催されました。

当日は、知事や県内の市町村長が、県産品や観光などの魅力を大いにPRしました。

今回は、320を超えるブースで、各市町村自慢の特産品などが販売され、明治維新150年や大河ドラマ「西郷どん」の効果で鹿児島島への関心が高かったこともあり、昨年を約4千人も上回る、約3万5千人が来場し、熱気に包まれた会場は、まさに「鹿児島一色」となりました。



▲会場全体の様子

4/18  
[水]

## かごしま焼酎大使委嘱式



▲三反園知事から林氏に委嘱状を交付

海外における本格焼酎の認知度向上や消費拡大を図るため、中国で俳優や画家として幅広く活躍されている林棟甫氏に「かごしま焼酎大使」を委嘱しました。

三反園知事からは、委嘱状とともに、「焼酎を“どんどんPRしてほしいと県の新キャッチコピー”どんどん鹿児島入り」の法被を手渡ししました。林氏は、「焼酎を愛する人を増やし、焼酎の認知度向上に貢献したい」と意気込みを語りました。

焼酎を「人生の伴侶」と例えるほどの愛飲家である林氏に、今後、中国を含め世界の方々に本県の本格焼酎を飲んでいただけるようお力添えをいただきます。



▲法被にそでを通す林氏

4/24  
[火]

## 県ブリ人工種苗生産施設オープン



▲施設のオープンを記念してテープカット

養殖ブリのさらなる輸出促進を図るため、垂水市に最新の設備を備えたブリ人工種苗生産施設がオープンしました。

この施設は、養殖ブリの生産に必要な稚魚(種苗)を人工的に生産供給する目的で整備したもので、ブリ専用の人工種苗生産施設を都道府県が整備するのは全国初となるものです。

人工種苗を活用した養殖ブリは、天然の資源に影響を与えず、生産履歴が明確なことなどから、海外で高い評価を得ており、本施設が、全国一の生産量を誇る本県養殖ブリの振興に大いに寄与することが期待されます。



▲施設内部の様子

5/5[土]

## 硫黄山の噴火に伴う川内川への影響に対する対応



▲農林水産大臣へ支援を要請

霧島山硫黄山の噴火活動に伴い、川内川上流域では、水質が悪化し、白い濁りと大量死した魚の漂着が確認されたことを受け、5月5日から6日にかけて、三反園知事が現地の状況を視察するとともに、地元首長や農業、漁業関係者との意見交換を行いました。

5月8日には、伊佐市、湧水町の一部で今期の水稲の作付け中止が決定されたことを受け、知事が河野宮崎県知事とともに齋藤農林水産大臣へ支援の要請を行い、5月23日、国から生産農家に対する支援策が示されました。

県は今後とも、国や宮崎県、地元市町、関係機関などと連携し、万全な対策を講じてまいります。



▲川内川を現地視察する三反園知事

5/16  
[水]

## 新造船「さんふらわあ さつま」就航記念セミナー



▲就航記念セミナーの様子

志布志・大阪航路における、約25年ぶりとなる新造船就航を記念して、新造船「さんふらわあ さつま」就航記念セミナーが開催されました。

新造船には、贅沢な船旅を味わえる「スイートルーム」が新しく設置されたほか、レストランや展望大浴場などが拡大し、各種エンターテイメントも充実しています。

今年の夏には、2隻目の新造船が就航予定で、関西方面とのさらなる交流促進や本県の農林水産業などの振興に大きく寄与することが期待されます。

ぜひ、フェリーさんふらわあで、新しい船旅のかたち「カジュアルクルーズ」をお楽しみください。



▲新造船「さんふらわあ さつま」  
※運航スケジュールは運航事業者へお問い合わせください。

5/24[木]

5/27[日]

## ASPAC鹿児島大会



▲オープニングセミナー会場

国際青年会議所アジア太平洋地域会議（JCI ASPAC）鹿児島大会が開催され、国内外から約8400人の参加者が本県を訪れました。

オープニングセミナーでは、秋篠宮同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、大会期間中には、研修会や交流会のほか、県内の特産品などを紹介するトレードショー（見本市）も開催されました。

明治維新150年の節目の年に、次の世代を担う世界各国の若手経済人がここ鹿児島で未来に向けて語り合い、互いに交流を深めるなど、非常に意義深い大会となりました。



▲JCI役員歓迎レセプションの様子